

(別紙4)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 2024年 2月 27日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	2292300379		
法人名	医療法人社団 弘仁会 中根クリニック		
事業所名	グループホーム かりんの花		
所在地	〒416-0903 富士市松本134-1		(電話) 054-60-9000
自己評価作成日	2024年2月27日	評価結果市町村受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	
所在地	
訪問調査日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

「もう一つの我が家」と言われるように、ご自身の家になるようケアを行っています。入居したことによって、今までの日常生活や繋がりが中断されることがないように、介護職員だけでなく多職種と協力して多方面からのアプローチを考えられるチームを目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

--

2 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム かりんの花

作成日 2024年2月27日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3	コロナ緩和されたが、運営推進会議に参加される方の足が遠のいてしまった。	内部の人間だけにならないように、地域の民生委員などに協力を仰ぐ。	運営推進会議の参加の呼びかけ、またご家族様が参加できなくとも、意見が届けられるような仕組みを考える	6ヶ月
2	4	施設外での地域の方々の関りが減り、閉鎖的になってしまっている。	施設外への参加（活動）または、施設内への訪問	地域活動をされている方にコンタクトを取りボランティア活動の参加や訪問の確認する。	6ヶ月
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

3 サービス評価の実施と活用状況

事業所の外部評価の実施と活用状況について振り返ります。

「目標達成プラン」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活用状況についての振り返り】

実施段階		取り組んだ内容 (↓該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	① 運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	② 利用者へのサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③ 利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした。
		<input type="radio"/>	④ 運営推進会議でサービス評価を説明するとともに、どのように評価機関を選択したかについて報告した
		<input type="radio"/>	⑤ その他 ()
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	① 自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	② 前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③ 自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った。
		<input type="radio"/>	④ 評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/>	⑤ その他 ()
3	外部評価（訪問調査当日）	<input type="radio"/>	① 普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	② 評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③ 対話から、事業所が努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④ その他 ()
4	評価結果（自己評価、外部評価）の公開	<input type="radio"/>	① 運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	② 利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	③ 市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="radio"/>	④ 運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤ その他 ()
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	① 職員全員で次のステップに向けた話し合い、「目標達成プラン」を作成した
		<input type="radio"/>	② 「目標達成プラン」を利用者、利用者家族や運営推進会議へ説明し、協力やモニター依頼した（する）
		<input type="radio"/>	③ 「目標達成プラン」を市町村へ説明し提出した（する）
		<input type="radio"/>	④ 「目標達成プラン」に則り、目標を目指して取り組んだ（取り組む）
		<input type="radio"/>	⑤ その他 ()

自己評価および外部評価結果

[セル内の政行は、(Altキー) + (Enterキー) です。]

自己評価	外部評価	
	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づいた運営		
1 (1)	<p>○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意識をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>地域密着型施設として、地域の方に利用しやすい環境を、理念に基づき提供している。</p>
2 (2)	<p>○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>新型コロナウイルスの緩和により地域との関わりを増やし始めている。</p>
3	<p>○事業所の方を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>認知症の理解を深めて頂くために、交流会等企画していたが、新型コロナウイルスの影響で実践できなかったが、緩和したため交流の方法を検討している。</p>
4 (3)	<p>○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、その意見を中心に向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議では、ご利用者様のご家族様に参加できない時にも意見が出来るように事前に、意見を頂いている。事業所の活動報告や今後の予定などの報告を行っている。地域の方や民生委員の方にも参加して頂いている。ご家族様にはご要望等も伺いサービス向上に努めている</p>
5 (4)	<p>○市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議に参加していただき、日頃の業務等でわからないことは連絡を取り、情報を頂いている。</p>
6 (5)	<p>○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>法人研修全体で身体拘束廃止を掲げている。ご利用者様の状況により生命の危機・切迫性がない限り、拘束をおこなわないケアに心掛けています。</p>
7	<p>○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待が行われないよう、研修・指導・環境作りを行っている。状況に応じて職員一人に負担がかからないような業務の作成をおこなっている。</p>

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	法人研修等を活用し自立支援・成年後見人制度を学んでいる。ただし、全てにたえられずどの知識がなない為、今後も継続し研修等を実施する。			
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の説明を行い、後日不明な点や納得が出来ないことなども、迅速に対応させて頂いています。			
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時やお便りにて、ご利用者様の普段の様子をお伝えさせて頂きます。またご家族様、ご利用者様の意見は、会議等にて出来る限り対応させて頂いています。	ご家族様は職員からのおたよりをとても喜ばれるので、今後も継続して下さい。特に写真が喜ばれます。	今後も現在の状況を維持していただければと思います。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的に職員面談を実施し、職員の不安・不満など確認しています。	管理者に相談しやすい職場を今後も継続して行って下さい。	今後も現在の状況を維持していただければと思います。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課等個々の評価をしつかりと評価している。給与に反映は管理以上で評価している。			
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員一人一人の能力に合わせ研修に参加している。			
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワーキングや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	webでの研修・連絡会に参加している。			

自己 外部	項目	自己評価		
		実践状況	実践状況	外部評価
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	○初期に業く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりを努めている	ご利用者様、ご家族様のニーズに合わせて、ケアの提供をしている。		
16	○初期に業く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりを努めている	契約段階で、ご利用者様ご家族様の問題を解決できるよう内容を提示し、より良いサービスが提供できるように、関係づくりを努めている。		
17	○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービスも利用も含めた対応に努めている	ケアマネがしつかりヒアセスメントを行い、その時必要な具体的なケアをケアプランに落とし込んでいる。		
18	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	馴染みの関係性が作れるように、出来る限り同じ職員が対応できるように、専従の職員を配置している。		
19	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	いつでもご家族様に会えるように、面会は制限なく来訪できるようにしている。(感染状況により制限有)		
20	(8) ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご近所様や馴染みの顔に会えるようにお声掛けをさせていただいている。ご家族様との外出も制限はしていない。(感染状況により制限有)	社協や民生委員の方に声掛けしていけば、ボランティア活動など確認が取れるので、確認してみてください。	コロナの関係もあるが、閉鎖的にならないよう、状況を見ながら検討して頂ければと思います。
21	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様同士の関係性を築いていただくため、職員が状況見て対応している。		

自己 外部	項目	自己評価		外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
22	○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了しても、同じように相談や支援が出来るようにお伝えし、気軽に来設出来るような関係性を築くように努めている。			
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9) ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	意向に添えるように努力している。また家族様より聞き取りを行い、暮らしやすい環境を提供できるように努めている。	今後も本人の思いを受け止める取り組みを継続していただければと思います。	本人の意向の確認が難しいケースも多いと思いますので、そのような場合には家族からの聞き取りなどを行い、周囲がチームとなり本人の意向を推察して頂ければと思います。	
24	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご利用者様の生活環境を変えず、生活を継続できるように努めている。			
25	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の状態を確認し変化に気づくよう努めて、残存機能を活用するように努めている。			
26	(10) ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	各関係者と意見を出し合い、ご本人様が安心して過ごせる環境を作るように努めている。	本人をはじめとした関係者がチームとなりケアプランの作成が行えているとのことですが今後も継続して頂きたい。特にご家族様は多くの情報を教えて下さります。	ご本人様がより良い暮らしが出来るように、今後もチーム一体となり取り組んでいって頂ければと思います。	
27	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の情報を共有し、会議等で意見を話し合い、ケア・計画の見直しに努めている。			
28	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご利用者様のニーズに合わせて、柔軟な支援が行えるように努めている			

自己評価	外部評価	項目	
		自己評価 実践状況	外部評価 実践状況
29		<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>安全で豊かな暮らしが提供できるように努めている。また、一人ひとりに地域資源が地味出来るように努めているが、まだ十分な提供が出来ているとは言えない。</p>
30		<p>○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>医療法人の為、医療連携は適切に支援行っている。ご家族様にも随時報告し、受診の必要性がある場合は相談させて頂いている。</p>
31		<p>○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>毎週クリニックの看護師が利用者様の状態を確認している。住診時以外でもネットを活用し必要に応じて相談し適切な支援が行えている。</p>
32		<p>○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は必ず、家族を含め病院との連携を密に行っている。必要に応じて書面又は面談で情報交換を行っている。</p>
33		<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>早い段階でDrよりムンテラを行い、本人・ご家族様の意向に添えるよう終末期のケアを話し合っている。事業所で出来ることを会議等を使い、支援方法を話し合っている。</p>
34		<p>○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>毎年全職員が救急救命の研修を実施。AEDの訓練を受けています。AED以外でも看護師より啓蒙対策や初期対応の研修を実施している。</p>
35		<p>○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回防災訓練を行っている。うち1回は消防署立ち合いです。また毎月防災委員会にて会合を行い、防災に関しての情報共有を行っている。</p>

グループホームの弱い点の医療に関して、医療法人で理事長(Dr)と密に連絡が取れるのは、とても強い面なので、ご家族様も安心されていると思います。

現場の職員がDr相談できる状況になっっているので、今後も継続して頂ければと思います。

入院時に医療関係者との密なやり取りが行えているとの事なので今後も継続して頂ければと思います。

終末期に家族の思いも揺らぐので、最終まで家族の思いを汲んで今後も支援して頂ければと思います。

引き継ぎ、地域防災訓練への参加をご検討いただき、地域との協力体制を築いて欲しい。避難訓練や話し合いの中でBCP等の内容をより細かく実践に近いものにして頂ければと思います。

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
36	(14)	IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 ○一人ひとりの尊重とプライベートの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者様の尊厳を守る為、言葉使い態度に気を付け敬語で話し、ご利用者様の話には傾聴している。接遇の研修も実施している。	利用者の尊厳を守るために職員全体でコミュニケーションの方法を検討されているように、今後も継続して取り組んで頂きたい。	尊厳を守るための職員の対応などは啓発を続けていくことが必要と考えますので、今後も同様の対応が行えるように研修などを続けて頂ければと思います。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人一人の思いや希望を聞きだせるような工夫を行い、ご本人様の希望が叶うように努力している			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人に合った生活を過ごしていただく為の支援を心掛けています。個々のペースに合わせて、同じ事の繰り返しにならないよう努めている。			
39		○身だしなみやおしやれの支援 その人らしい身だしなみやおしやれができるように支援している	毎月理美容にてご本人様の希望をカットされている。カーパーズも同様に希望があれば行っている。衣服が同じものだけを繰り返し着ることのないように努めている。			
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	いつもと同じ食事だけでなく、イベントや季節の食事を楽しんでいただく企画を実地している。利用者の方と一緒に出来ることは参加して頂いている。	写真等で拝見しています。ご利用者の方と一緒にすることにより、本人の生活の質の向上、またご家族様も喜ばれるので、今後も継続していただければと思います。	外食等も計画しているが、感染症の状況を見て対応をする。今後もご利用者様が可能なことは一緒に行なって頂ければと思います。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に合わせた支援をしている	ご利用者様の栄養状況で、D相談し補助食品等で健康状態を把握している。水分摂取には気を付け、一定量より減らないように工夫を施し摂取できるよう支援している。			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	必要な方には歯科医師に相談し、クリーニングを施行していただいている。日常での口腔ケアに關して、必要に応じて職員が仕上げを行い清潔が維持できるように支援している。			

自己 外部	項目	自己評価		外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
43	(16) 〇排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や自立にむけた支援を行っている	トイレでの排泄が継続できるよう、その方にあつたパターンで声掛けを行っている。おむつ使用している方でも、日中で外せる時間は紙パンツを使用するなどの支援を行っている。	排泄パターンを把握し声掛けを行ったり、オムツの時間を減らすなどの取り組みは素晴らしいと思います。今後も継続していただければと思います。	少しでも自立できる時間が長く続くように、今後も支援して頂けたらと思います。	
44	〇便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	出来るだけ薬に頼らないように、水分量や食事に気を付けるよう努力している。入浴維持等腹部マッサージなど支援している。看護師往診日グル音確認			
45	(17) 〇入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそつた支援をしている	ご利用様のタイミングや時間帯に出来る限り合わせられるように努め、個々にあつた入浴を支援している。1人あたり30分～40分程度	利用曜日を決めずに利用者の希望で入浴できる取り組みは素晴らしいと思います。今後も継続して頂ければと思います。	入浴支援が、利用者にとつてリラックasでき、職員の方々と話す機会が持てる時間となると良いと感じる。	
46	〇安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間までの時間を大切に、ご利用者様一人一人が好きな時間で入床出来るよう支援している。			
47	〇服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ご利用者様の薬の目的や副作用等は薬情等を確認し服薬に努めている。Dr往診時に様子を報告し健康管理に努めている。変化がある場合は都度報告している。			
48	〇役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人に合ったレクや生活リハビリを提供し、日々の生活が義務的にならないよう支援に努め、季節ごとに変化を付けている。			
49	(18) 〇日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそつて、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	ご家族様・ご本人様の希望を伺い外出できるように支援を行い、外泊も可能。外気浴・ドライト等も行っている。	コロナ禍で積極的な外出支援が難しいとは思いますが、別項でお伺いしたような取り組みの継続をお願いします。	敷地内や近所の散歩等、3密対策の中での支援を継続してほしい。状況を見て緩和していただければ嬉しい。	

自己 外部	項目	自己評価		外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
50	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物と一緒に出掛け、お金を使う機会を設けている。			
51	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人様・家族様の連絡が途絶えないよう支援に努めている。ご家族様の状況に合わせて実施している。			
52	(19) ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を盛り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間の環境整備に努め、室温の調整や換気を行い、居心地の良い空間を作ろうと努力している。感染対策。	見学等で拝見させていただいた時に、清潔にされ季節で飾り付け等も整えられる。広い空間ですが、ご利用者様に合わせ温度も調整されている。	新規入居者についても、居心地の良い生活環境となるよう、支援していただきたい。家族などの意見も取り入れ、個別性を持った環境調整を今後も続けて頂ければと思います。	
53	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った方向士で過ごして頂けるように、居場所の提供に努めている。本人の過ごしやすい場所を過ごして頂いている。			
54	(20) ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	個別によって偏りがあるが、馴染みの物を居室に置き、今までの生活の継続が出来るように、ご家族様に説明し協力して頂いただけよう努力している。	今後も居心地の良い環境が出来るようにサーポートをお願いします。入居時にご家族様にご本人様が愛用していたものなどを持ってきて頂いている。	入居の時点で、出来るだけ馴染みな物を持って来て頂いただけに、今後も継続して頂ければと思います。	
55	○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	残存機能を出来るだけ活用して頂き、自立した支援ができるように支援させて頂いてる			

V. アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23、24、25)	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18、38)	<input type="radio"/>	①毎日ある
		<input type="radio"/>	②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36、37)	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない

61	<p>利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている</p> <p>(参考項目：30、31)</p>	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
62	<p>利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている</p> <p>(参考項目：28)</p>	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
63	<p>職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています</p> <p>(参考項目：9、10、19)</p>	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と
		<input type="radio"/>	②家族の2/3くらいと
		<input type="radio"/>	③家族の1/3くらいと
		<input type="radio"/>	④ほとんどできていない
64	<p>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている</p> <p>(参考項目：9、10、19)</p>	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように
		<input type="radio"/>	②数日に1回程度
		<input type="radio"/>	③たまに
		<input type="radio"/>	④ほとんどない
65	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている</p> <p>(参考項目：4)</p>	<input type="radio"/>	①大いに増えている
		<input type="radio"/>	②少しずつ増えている
		<input type="radio"/>	③あまり増えていない
		<input type="radio"/>	④全くいない

66	職員は、活き活きと働けている (参考項目 1 1、1 2)	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の 2/3 くらいが
			③職員の 1/3 くらいが
			④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の 2/3 くらいが
			③利用者の 1/3 くらいが
			④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の 2/3 くらいが
			③家族等の 1/3 くらいが
			④ほとんどできていない